

(1 / 2ページ 0m ~)

# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名

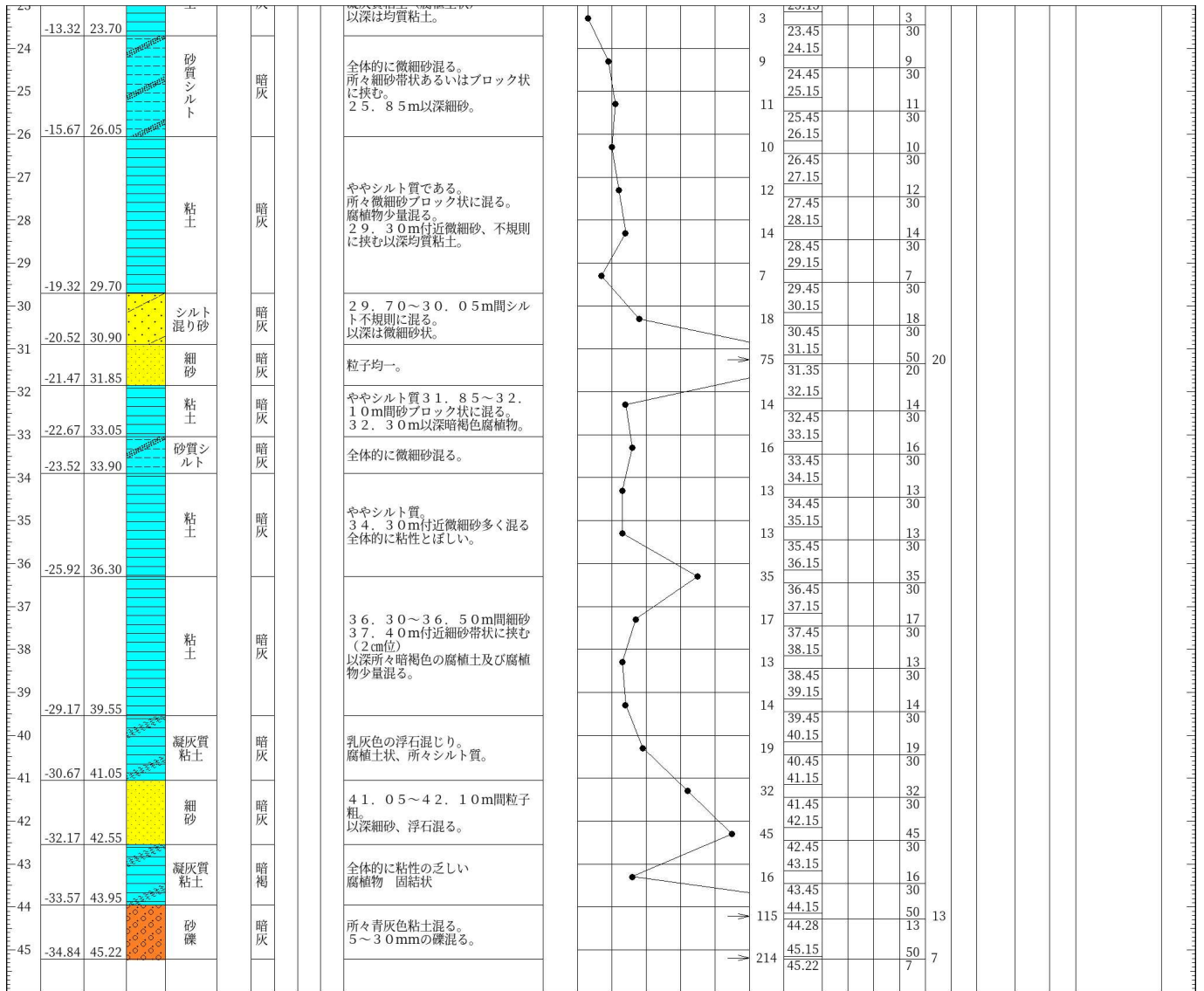
事業名または工事名 昭和55年度土木事業測量調査 1級河川目久尻川

調査目的及び調査対象

ボーリング名	NO.2		調査位置	神奈川県高座郡寒川町宮山地先			北緯	
発注機関	神奈川県藤沢土木事務所			調査期間	昭和56年02月27日～昭和56年03月03日		東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	T.P. 10.38 m		角			方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	
総削孔長	45.22 m		度	0°		位置	0°	
				地盤勾配	水平 0°		使用機種	エンジン
							ポンプ	

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	室内試験	削孔月日
										N 値	深 度 (m)	10cmごとの打撃回数 (10 ~ 20)	20cmごとの打撃回数 (20 ~ 30)	30cmごとの打撃回数 (30 ~ 40)				
1	8.48	1.90	盛土	暗褐				ローム質粘性土による盛土。 1. 0.0m付近より所々茶褐色。		2	1.15				2			
2			ローム	褐灰				草根混る。 粘土質ローム状。	2.75	5	1.48 2.15				5			
3	6.98	3.40	粘土	暗灰				3. 4.0唐, 6.0m間やや砂質。 3. 6.0m以深腐植物混る。		3	2.45 3.15				5			
4			粘土	暗灰						2	3.45 4.15				2			
5	4.88	5.50	細砂	暗灰				5. 5.0~5.6m間シルト混る。 5. 6.0m以深小レキ (φ3mm) 点状する。 5. 7.0~6.8m間微細砂。 6. 8.0~8.4m間粒子均一で腐植物混る。		21	4.47				2			
6			細砂	暗灰						18	6.15				21			
7	1.98	8.40	砂礫	暗灰				φ1~3.0mm位の小レキ多い。 粗砂と混合状。maxφ5.0mm位		18	6.45 7.15				30			
8			砂礫	暗灰						14	7.45 8.15				30			
9	0.68	9.70	砂礫	暗灰				所々φ1.0~2.0mm位の丸レキ混る。 1.0, 8.0m以深小レキが多いが全体的には粗砂状である。		25	8.45 9.15				30			
10			砂礫	暗灰						60	9.45 10.15				50			
11	-3.42	13.80	粘土	暗灰				腐植物混る。		41	10.40 11.15				25			
12			粘土	暗灰						41	11.45 12.15				30			
13	-4.72	15.10	粘土	暗灰						65	12.38 13.15				50			
14			粘土	暗灰						49	13.45 14.15				30			
15	-8.52	18.90	シルト混り細砂	暗灰				極少量粘土分混る。 16. 0.0m付近腐植物目立つ。 17. 0.0m以深微細砂状。		4	14.45				4			
16			シルト混り細砂	暗灰				シルトと微細砂の互層状。		14	16.15				14			
17	-9.12	19.50	砂質シルト	暗灰				全体的に微細砂混る。 20. 3.0m付近に3cm位の砂層挟在する。 20. 0.0m付近より貝殻片混る		13	16.45 17.15				30			
18			粘土	暗灰						8	17.45 18.15				30			
19	-11.47	21.85	粘土	暗灰						8	18.45 19.15				8			
20			粘土	暗灰						8	19.45 20.15				8			
21	-13.32	23.70	粘土	暗灰						11	20.45 21.15				30			
22			粘土	暗灰						3	21.45 22.15				3			
23			粘土	暗灰						3	22.47 23.15				32			
24			粘土	暗灰						3	23.45				3			

(2 / 2ページ 23m ~)



(1 / 2ページ 0m ~)

# 土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)

調査名

事業名または工事名 平成4年度総合治水対策特定河川工事委託 目久尻川護岸詳細設計

調査目的及び調査対象

ボーリング名	NO.3		調査位置	神奈川県高座郡寒川町宮山地先			北緯	
発注機関	神奈川県藤沢土木事務所			調査期間	平成05年01月26日～平成05年02月02日		東経	
調査業者名				主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 10.88 m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0°	使用機種
総削孔長	45.35 m	度	0°	位	0°	試錐機	エンジン	ポンプ

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	室内試験	削孔月日
										N 値	深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	10	20				
9.18	1.70	表土	表土	暗茶褐				礫混り砂質ローム。上部草根多く混入し全体に5~30mm大の礫を50%程度混入。所々コンクリート片を混入する所あり、盛土と思われる。		8	1.15		8					
7.08	3.80	粘土混りシルト	粘土混りシルト	暗灰				全体に粘土分を含み腐植物を多く混入し若干の雲母散在。2.50m付近より茶褐色となり粘土分多くなる。含水量中位。	3.05	3	2.47		3			3-T-1		
5.78	5.10	有機質粘土	有機質粘土	黒灰				全体に腐植物を多く混入し、若干の雲母、浮石を散在。含水量中位。		3	3.46		3			3-T-2		
5.08	5.80	シルト混り細砂	シルト混り細砂	黒灰				シルトを混入、砂の粒子不均一。含水量中位。		3	4.48		3			3-T-2		
4.18	6.70	シルト	シルト	暗灰				全体に非常に軟らかく腐植物を多く混入。含水量中位。		0	5.46		3			3-T-3		
2.28	8.60	砂礫	砂礫	暗灰				5~30mm大の円礫を70%程度混入。マトリックスは粒子不均一な細砂所々粒子均一な細砂を帯状に挟むところあり。含水量やや大。		23	6.47		47					
1.08	9.80	礫混り中砂	礫混り中砂	暗灰				5~20mm大の円礫を20%程度混入。所々粒子均一な細砂を帯状に挟む含水量や多い。		40	7.15		23					
		砂礫	砂礫	暗灰				全体に5~30m/m大の円礫を70%程度混入し、所々礫少ない所あり。砂の粒子不均一にて、若干の有機物、浮石雲母を散在する。含水量や多い。		45	7.45		30					
-2.32	13.20	シルト	シルト	暗灰				上部褐色の粘土質シルトを挟む全体に腐植物、雲母を混入。若干の細砂を挟む所あり。含水量中位。		46	8.45		30					
-4.92	15.80	シルト	シルト	暗灰						45	9.45		30					
-11.02	21.90	シルト質細砂	シルト質細砂	暗灰				全体に若干の有機物、浮石、雲母を散在する。所々貝殻片を混入しシルトをブロック状又は帯状に混入し砂の粒子均一。所々不均一な細砂を挟む所あり。含水量中位。		45	10.45		30					
-12.82	23.70	シルト	シルト	暗灰				2.1m付近より腐植物多く混入。シルトと細砂の互層。		46	10.45		30					
		シルト	シルト	暗灰				全体に貝殻片を混入し若干の腐植物。雲母を散在。含水量中位。		6	11.15		30					

(2 / 2ページ 23m ~)

